



2022年11月11日

各 位

会社名 ウェルビー株式会社
代表者名 代表取締役社長 大田 誠
(コード番号 6556 東証プライム市場)
問合せ先 取締役副社長兼管理本部長 千賀 貴生
(Tel. 03-6268-9542)

特別損失（事業整理損）の計上及び第2四半期業績予想と実績との差異並びに 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、特別損失を計上することを決議するとともに、第2四半期業績予想と実績との差異が生じ、さらに2022年8月12日に公表した2023年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正することにいたしますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（事業整理損）の計上について

2022年8月12日付で公表しました「棚卸資産評価損（売上原価）の計上並びに 連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、2023年3月期第1四半期決算において、市場環境及び動向等を踏まえてヘルスケア事業の今後の販売計画を精査した結果、販売が見込まれない5-A L A商品等（原材料及び貯蔵品ならびに前渡金を含む。）については、棚卸資産評価損として19億61百万円を売上原価に計上いたしました。

その後、2022年9月29日付「連結子会社の異動（株式譲渡）及び債権譲渡に関するお知らせ」の通り、ヘルスケア事業から撤退することとなりましたので、2023年3月期第1四半期決算において、売上原価に計上しておりました棚卸資産評価損を事業整理損として特別損失に計上することになりました。

事業整理損の合計は、20億82百万円となりますが、その内訳は、棚卸資産評価損として、19億97百万円、債権譲渡損17億99百万円、関係会社株式売却益17億68百万円、その他損失53百万円となります。

上記の内容につきましては、本日発表の「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

2. 第2四半期業績予想と実績との差異

(1) 2023年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,477	△816	△792	△1,180	—
実績 (B)	5,274	933	967	△1,162	—
増減額 (B－A)	△202	1,750	1,760	18	
増減率	△3.7%	—	—	1.5%	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期 第2四半期)	4,688	1,202	1,245	866	18.9

(2) 業績予想と実績の差異の理由

主力の障害福祉事業は順調に推移しておりますが、営業利益及び経常利益においては、前述の「1. 特別損失（事業整理損）の計上について」に記載の通り、2023年3月期第1四半期決算において、売上原価に計上した棚卸資産評価損を事業整理損として特別損失に振替を行ったため、前回発表しました予想より大幅な増益となりました。

3. 連結業績予想の修正

(1) 2023年3月期通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,167	495	530	△171	△5.94
今回修正予想 (B)	10,626	1,903	1,929	261	9.48
増減額 (B－A)	△540	1,408	1,398	432	
増減率	△4.8%	284.2%	263.5%	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	9,894	2,527	2,659	1,828	63.74

(2) 修正の理由

2023年3月期の業績につきましては、2022年9月29日付「連結子会社の異動（株式譲渡）及び債権譲渡に関するお知らせ」の通り、ヘルスケア事業から撤退することとなりましたので、下期の業績予想から削減しております。また、2022年9月29日付の「株式会社ハピネスカムズの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」の通り、2023年3月期第3四半期決算より同社を連結化するため、新たに業績予想に反映しております。さらに障害福祉事業の2023年3月期第2四半期の業績を勘案し、業績予想を見直した結果、前回発表しました予想より売上高が減少する見込みとなっております。

営業利益及び経常利益においては、前述の「2. (2) 業績予想と実績の差異の理由」に記載の通り、前回発表しました予想より大幅な増益となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益においては、2022年10月3日付の「5-アミノレブリン酸原体及

びサプリメントの棚卸資産譲渡に関するお知らせ」の通り、2023年3月期第2四半期決算における商品評価額を上回る金額で商品譲渡を実施し、2022年3月期第3四半期決算以降に売却益4億55百万円が計上される見込みです。さらに事業整理損として特別損失を計上しているものの、ヘルスケア事業から撤退することになったため、当事業整理損が税務上損金として認められると判断し、税負担が減少しました。これらの結果、前回発表予想に比べて増益となる見通しです。

(注) 上記の業績は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上